

令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
理科	化学基礎	1	2	70	加藤・澤崎 千葉

年間指導計画

前期中間 時数	前期期末 時数	後期中間 時数	後期期末 時数
14 時間	20 時間	18 時間	18 時間

授業の目標

1. 物質とその変化について理解する。
2. 科学的に探求する力を養う。
3. 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

学習方法

- 授業をしっかりと聞き、内容を理解する。
- 実験や話し合い、レポート作成に主体的に取り組む。
- 理解した内容について、教科書・副教材の問題を解き確認する。

教科書・教材

- 教科書「新編 化学基礎」（数研出版）
- 問題集「新インプレス 化学基礎ノート」（浜島書店）

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準（到達目標）	割合	評価の方法
ア：知識・技能	物質とその変化に関する基本的な概念や原理・原則を理解し、基本操作や技能を身につけている。	40%	定期考査
			実験・実験プリントなど
イ：思考・判断・表現	物質とその変化について、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	40%	定期考査
			実験・実験プリントなど
ウ：主体的に学習に取り組む態度	主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	20%	休業明け考査 課題・宿題等の提出物の提出状況、授業中の取組など

その他・備考